

PRICE 料金プラン

	年間フリー	月間フリー
価格	710,000 円（税別）	69,000 円（税別）
ケース制限	ケース無制限	ケース無制限
自動更新	○	○
クレジット対応	X	X
ハードウェア販売代理 & 導入支援（別料金）	ハードウェア販売代理、必須ソフトインストール済み状態で 導入までをサポート（認定パートナーによる対応）	

DEVICE 対応デバイス



	HoloLens® 2	HoloLens® (第一世代)	Magic Leap 1®	Windows® Mixed Reality Headset	Oculus® Quest / Oculus® Quest 2
Virtual session	○	○	○	○	○
Virtual Line機能	○	x	○	○	○
Pen機能	x	x	○	○	○
Slice機能	○	x	○	○	○
Recording機能	x	x	x	○	○
ARマーカー機能	○	○	○	x	x
手術室背景の表示	x	x	x	○	○
デバイス仕様					
透過型 or 非透過型	透過型	透過型	透過型	非透過型	非透過型
外部機器接続	スタンドアロン	スタンドアロン	スタンドアロン	別途PCが必要	スタンドアロン
コントローラー操作	x	x	○	○	○
ジェスチャー操作	○	○	x	x	x
重さ(HMD部分のみ)	566g	579g	316g	500g	503g
解像度（片眼あたり）	2K	2HD	1.3M	2160 × 2160※1	1832 × 1920※2
視野角	52°	34°	50°	114°	110°

商標について：●HoloLens、Windowsは、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。●Magic Leap 1は、Magic Leap, Inc.の商標です。●Oculusは、Facebook Technologies, LLCの商標または登録商標です。●記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。●記載事項は2020年12月現在のものです。本カタログに記載された内容は、予告なく変更されることがあります。

※1 デバイス仕様は推奨品であるHP Reverb G2 VR Headsetの情報です。※2 デバイス仕様はOculus Quest 2の情報です。

OUR SERVICE 全取扱サービス

Holoeyes MD

汎用画像診断装置
ワークステーション用プログラム

Holoeyes VS

オンライン遠隔共有
カンファレンス サービス

Holoeyes Edu

VR 医療教育プラットフォーム

Holoeyes XR

医療用画像表示サービス
(非医療機器)



製造販売業者・製造業者

Holoeyes 株式会社 東京都港区南青山 2-17-3 モーリンビル 303

お問い合わせ先：Holoeyes 株式会社公式 WEB サイト <https://holoeyes.jp>

カタログ管理番号：XR202106

Holoeyes MD、Holoeyesのロゴおよびその他のすべての商標は、Holoeyes株式会社の商標です。



会社概要は左記 QR コード、
または下記 URL 先の動画を
ご参照ください。

https://holoeyes.jp/manual/company_overview/



医療用画像表示サービス（非医療機器）

Conference



Educational
Training



Informed
Consent



CORE TECHNOLOGY

CT・MRI等の3D画像をクラウドで 自動XRアプリ化

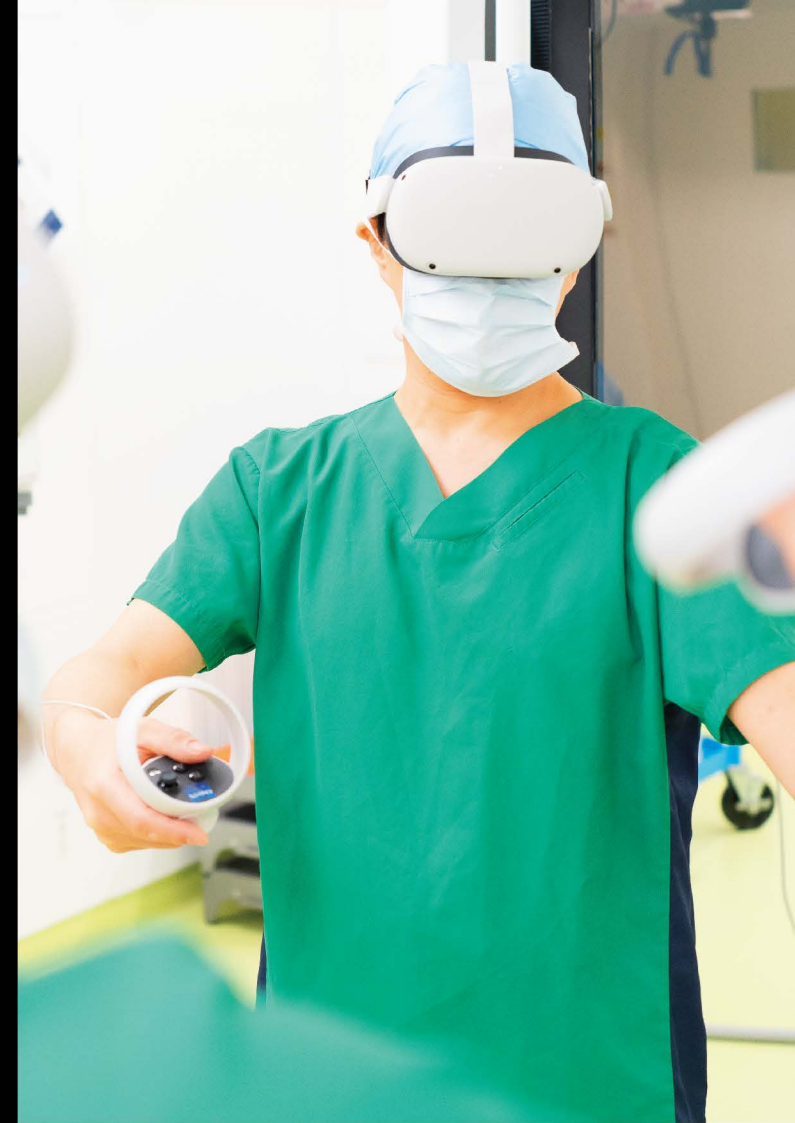
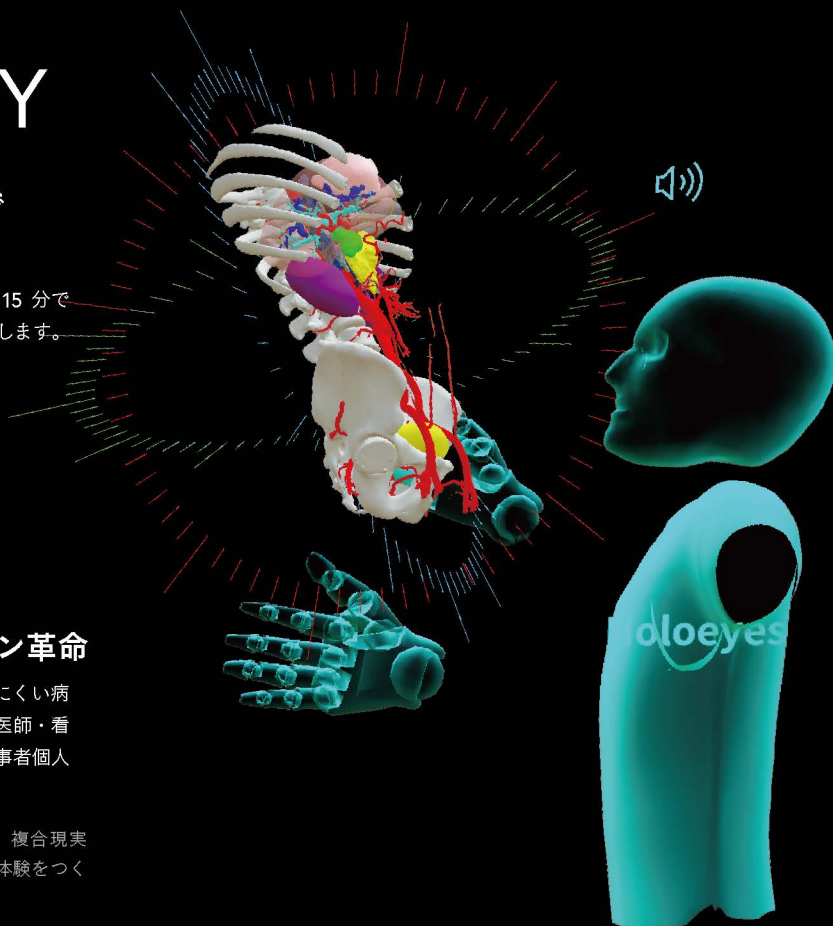
Holoeyesは、医療診断機器から書き出したポリゴンデータを15分でVR化するテクノロジーで医療コミュニケーションに革命を起こします。



XR体験※による医療コミュニケーション革命

VRを使ったシミュレーションは、平面モニターでは分かりにくい病態を立体的に理解しやすくします。これにより、医師同士、医師・看護師間などメディカルスタッフのチーム連携の向上、医療従事者個人の技量向上、診療の品質向上に貢献します。

※XR (Extended reality) とは、仮想現実 (VR)、拡張現実 (AR)、複合現実 (MR) の総称で、仮想世界と現実世界を融合して新たな環境・体験をつくり出す技術のこと



EDUCATIONAL TRAINING

教育トレーニング

医療技術は暗黙知と言われ、技術は職人技的であり、数値化できず継承が難しいとされています。

しかし Holoeyes XR を利用すれば、術者の手技や独自の術式をXR空間内で追体験が可能。職人技と言われてきた技術を3D空間の動きとしてデジタルデータ化することで、追体験の共有を可能とし、術式トレーニングや技術の向上に寄与します。

CONFERENCE

カンファレンス

XR空間内で動きや音声等を共有したカンファレンスが可能です。参加者全員が同じ空間でXR体験を共有することで、理解度の向上を目指します。また、実際の患者データを用いるため、個別の具体的な術式トレーニングも可能です。

オプション機能「Holoeyes VS」を使うと複数のデバイスで同じ症例3Dモデルを見ることが可能です。



INFORMED CONSENT

患者説明

患者への病状・術式説明にも利用できます。

患者は病状・術式を正確に理解するが難しく、医師との理解度の間に大きなギャップが生まれています。Holoeyes XR を使用することで、患者がそれらを直感的に理解するサポートをします。

